

肉用牛生産者、酪農家の皆様へ



牛のヨーネ病の侵入防止対策を徹底しましょう！！

<牛のヨーネ病とは>

- 細菌（ヨーネ菌）を原因とし、数か月から数年間と長い潜伏期間の後に・慢性の水様性下痢・泌乳量の低下・削瘦（やせる）等で生産性を著しく低下させる疾病です。
- 治療法やワクチンはありません。  
定期的な衛生検査による感染牛の早期摘発とう汰が重要です。
- 感染牛の糞便に含まれた菌をほかの牛が口から接種することで感染します。
- 感染牛自体は無症状でも、糞便には大量の菌が含まれます。
- 特に子牛の時期に感染しやすい病気です。



写真：削瘦（やせる）、水溶性の下痢をするヨーネ病牛  
（出典：農水省

発生状況

年次	H28	29	30	R1	R2
全国（頭）	624	817	831	1066	809
県内（頭）	25	2	1	5	14

出典：農水省 HP  
青森県 HP

一般社団法人 青森県畜産協会  
TEL 017-722-4331

## 本病の発生・まん延防止の要点

- 畜舎の定期的な清掃・洗淨・消毒を行い、特に牛床や飼槽は常に清潔にしましょう。
- 踏込消毒槽の設置、専用長靴の使用等、汚れを持ち込まない、持ち出さないようにしましょう。
- 分娩牛房は清潔に保ちましょう。
- 子牛は可能な限り早期に成牛（母牛を含む）から離して飼養しましょう。
- 牛の排せつ物、排せつ物を含む敷料は切り返しを十分に行い、完全に熟成（たい肥化）させましょう。

## ヨーネ菌に有効な消毒薬

ヨーネ病菌に有効な消毒薬は限られているので、注意が必要で

- 畜舎やその周辺：消石灰、ドロマイト石灰の塗布、散布
- 踏み込み消毒槽：塩素系消毒薬（スミクロール、クレンテなど）  
クレゾール剤（タナベゾール、トライキルなど）

## （参考）ヨーネ病発生農場への支援策

国から患畜殺処分に対する手当金（評価額の4／5）が交付されるほか、当協会が各家畜保健衛生所や各地区の家畜衛生推進協議会と連携し、感染リスクの高い同居牛等の自主とう汰経費を支援する事業（家畜生産農場衛生対策事業）を行っています。